

9月15日（火） 5、6校時

理数科1年生では「科学英語」が行われました。これは、理科の実験の授業をオール・イングリッシュで行うもので、この授業には北大の留学生が1班に1人ずつついて指導してくれます。生徒は片言の英語ではありますが、一生懸命コミュニケーションをとろうとしていました。

今回は、かつて青年海外協力隊員であった宮古教諭が自作のテキストを使い、「金属の性質」について実験を交えての授業を行いました。



1班に1人ずつ北大の留学生がついて指導してくれます。会話はもちろんオール・イングリッシュです。



金属が電気を通すことを実験で確かめています。英語でコミュニケーションをとりながら行うところがポイントです。



授業の最後には、今日の実験で分かったことをポスターを使いながら英語で発表する練習をしました。このような経験が、来年、2年生で行う課題研究に生かされます。

9月11日（金） 5、6校時

理数科2年生で行われている探究活動の中間発表会を本校第1体育館で行いました。北海道大学などの研究者の方にお越しいただき、生徒の発表の審査とともに、ここまでの探究活動の研究内容についてアドバイスをいただきました。生徒はいただいたアドバイスを参考にしながら、12月の発表会に向けて研究内容をさらにブラッシュアップしていきます。

また、この発表会には理数科1年生も参加し、先輩の発表を聞きました。発表が終わると1年生から盛んに質問が出て、2年生との間で熱心なやりとりが行われました。



発表はポスターセッション形式で行われました。一生懸命作ったポスターを前に発表が行われます。



パソコンで説明用のアニメーションを作った班もありました。少しでも分かりやすくなるように工夫しています。



緊急地震速報のチャイムの音を超える「怖い音（チャイム）」を作る研究をしている班の発表では、実際に生徒がパソコンで作った音（チャイム）をスピーカーで聞かせていました。

8月5日（水） 7：50ごろ～

7月22日（水）に引き続き、オーストラリアクイーンズランド州のマレーニー州立高校とインターネットでつないで『Cisco^{シスコ}会議』を行いました。夏休み中ですが、第2学年普通科のFuture Vision IIで「Sustainable Future Earth 持続可能な未来地球」のテーマを選択している生徒が朝早くから学校に来て、マレーニー州立高校の生徒と交流しました。GIS（7月9日（木）の記事を参照）についての説明と実演もあり、双方の生徒が各自のスマホを使って実際に体験していました。



『Cisco会議』は物理教室を会場に行われています。左側のテレビにマレーニー州立高校の様子が映っています。



各自のスマホでアプリをダウンロードし、GISの体験をしています。現在地などが表示されています。



互いに測定した各自の家庭で出るプラスチックゴミの量を報告しながら、ゴミ問題について、意見交換を行いました。会話はもちろんオール・イングリッシュです。